

「地域計画策定のため協議の場と説明会を開催」

京都府 木津川市農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	18人
○ 農地利用最適化推進委員	:	19人
○ 事務局職員	:	5人
○ 関係団体（名称のみ）		農業会議
○ 市町村行政との連携状況		市担当者と事務局、委員等が連携し会議を開催した。



2 地区の特徴、状況、課題

○木津川市は、平成19年3月に木津町・加茂町・山城町が合併し誕生した市で、ニュータウン開発等により人口は8万人を超えたが近年は微減傾向となっている。

○農業者の高齢化に伴う後継者不足、鳥獣被害の問題、荒廃農地の解消等の課題がある。



3 委員による継続した話し合いの取組内容

○令和6年3月～令和7年1月までの間に3回、地区連絡会議を開催し、今後の地域農業の在り方や課題解決に向けての方策等の検討をおこなった。

○令和6年7月～令和6年12月までの間に、地域計画策定に向けた「協議の場」を合計20回開催し、地域の農業者をはじめ、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業関係機関等から幅広く意見を聴取し、耕作者の現状と今後の意向や課題把握に努め、地域計画の目標地図案に反映させる取り組みを進めた。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

○地域計画・目標地図の実現に向け、まずは農業者に広く周知を図り意見を募集するため広告縦覧期間を設け、チラシを作成し、令和7年2月に市の広報誌とJA発行の広報誌への折込みを実施した。

○協議の場や地元地区説明会の場等で農地中間管理機構の利用説明をし、特に地元農業者や認定農業者等とは丁寧に、後継者となる多様な担い手との連携の仕組み作りを協議した。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください